

理事会報告②

日本菌学会 2020 年度第 4 回理事会 (web 会議) 議事録

日時: 2020 年 12 月 22 日 (火) 15:00 ~ 17:00

出席者 (順不同, 敬称略):

会長 田中千尋, 副会長 矢口貴志, 理事: 清水公徳 (庶務), 伴さやか (庶務), 糟谷大河 (国内集会), 谷口雅仁 (国内集会), 保坂健太郎 (国際集会), 中島千晴 (国際集会 [AMC]), 細矢 剛 (企画・広報・教育・普及), 田中栄爾 (編集委員長), 監事: 大和政秀, 稲葉重樹

オブザーバー: 折原貴道 (庶務)

欠席者: 山田明義 (日本菌学会会報編集責任者), 本橋慶一 (会計)

会議成立の確認

新型コロナウイルスの感染防止を図るため, Zoom を用いたウェブ会議形式で実施。会長・副会長および理事 10 名の出席があり, 理事会が成立した。

【報告事項】

I. 庶務関係 (清水・伴 理事)

1) 会員動向, 2) 会議の開催状況, 3) 日本菌学会授賞候補者および授賞候補論文の選考, 4) 名誉会員候補者の応募状況の報告がなされた。

・代議員総会で改定が了承された奨励賞の応募条件と, 2020 年 4 月の時点での日菌報での募集掲載内容に違いがあると選考委員会から指摘を受けたため, 会員向けメーリングリストにて訂正と追加募集を行った。

II. 国内集会関係 (糟谷・谷口 理事)

日本菌学会第 64 回大会 (大阪) 報告, 2) 2020 年度日本菌学会菌類観察会 (八王子フォーレ) 開催中止にかかる対応について説明された。

III. 国際集会関係 (保坂 理事)

1) 日台合同, 及び 2) 日中韓台合同シンポジウムの開催進捗について報告がなされた。

IV. 企画・広報・教育・普及関係 (細矢 理事)

本年度予定の行事 (教員のため, 中高生のため, 大学生のため) は全てオンライン開催となった。アンケートでの反応も良く, 今後もこのスタイルでの開催を検討していきたい。

V. 編集関係 (田中栄 理事, 山田明義 理事)

学会誌 (Mycoscience・日本菌学会会報) の発行状況, 投稿状況および編集計画について報告された。日菌報の原稿数が増えているため, 来年以降, 編集委員の数を増やしたい。

【審議事項】

I. 庶務関係

1) 日本生態学会の「気象庁による生物季節観測の変更の見直しを求める要望書」への賛同

→生物や季節のフェノロジー調査データの蓄積の重要性・継続を要求する内容であり, 政治的な要素は無い。特に反対意見は出なかったため, 学会として賛同する旨を伝える。

2) 「千葉大学真菌医学研究センター」への要望書

Q. 何が要望されているのかが資料からは判りづらい。

A. センターの外部評価委員が求める内容であるが, 文章は見直させていただく。

→趣旨に賛同し, 文面の修正をすることで承認された。

II. 国内集会関係

1) 日本菌学会第 65 回大会 (オンライン) の開催案

オンライン開催の大会計画案が提案された。オンライン開催から演題は多少減るか例年並みと予想され, 学会からの予算内で済みそうであること, また, 徴収の手間を削減したいため, 改めて参加費無料を推したいという旨が説明された。

(質疑応答)

・ Google Forms での参加申込の際に, 参加受付の記録などは表示する予定。会長名での大会当日の参加証明などが必要な場合, PDF で対応することは可能。

・学会としては発表の円滑な進行為を最優先させ, 懇親会については必須ではない。

・一般講演の申し込みが殺到した場合は, 複数のチャンネルでの同時並行開催も可能なのか。最初から想定して計画を進めていった方が良い。

・スケジュール的には全ての発表を Zoom による口頭発表としても何とか収まるのではないかと。具体的な時間割振りやプログラム編成については, 予算も踏まえて実行委員会で調整したい。

・小・中ポスターや優秀ポスターに賞を出すことから, ポスター発表も聴衆が多くつくような日程を善処する。

・大会で出す賞の授賞式の開催は難しいと思われるが, 賞の選考後, 告知を行い, 賞状 (PDF など含む) を各受賞者に授与できればと考えている。

→オンライン開催・開催要綱について承認された。

2) 2021 年度日本菌学会菌類観察会（八王子フォーレ）開催について

2020 年 9 月に予定していた八王子フォーレを来年度に順延する。室内の場所をより広いアリーナ（吹き抜けのある大型の空間）に変更，日程とサンプリングコースと実行委員は変更しない。感染症拡大の状況により，東京都，神奈川県に参加者を限定する場合がある。2022 年度は秋田県仙北市（乳頭温泉）での開催を予定。

（質疑応答）

・NL3 月号に開催概要を載せ，5 月の日菌報に詳細案内を掲載する予定。

・コロナ禍で先が読めない状況。今年度の場合と同様に，5 月の募集の詳細案内の送付前，もしくは費用が発生する前のいずれかで中止の意思決定をしたい。

→開催案が承認された。

III. 国際集会関係

日台合同菌学シンポジウムは，現状から近々の開催は無理である。日本側として正式に今年度内の開催断念の意向を伝えたい。

→承認された。

IV. 企画・広報・教育・普及関係

ニュースレター（以下，NL）のオープン化について

（質疑応答）

・NL については，CC ライセンスの表示を個々の記事に表示するのではなく，(CC BY-NC (表示 - 非営利) 推奨を) 冊子全体に規定することになるかと思うが，筆者に (CC BY-NC-ND (表示 - 非営利 - 非改変) の) 選択を許す場合，記事の版組についてより慎重を期す必要がある。テストをして慎重に進めていきたい。

・J-Stage への移行に伴い，Mycoscience が ScienceDirect 等から検索されないことが予想される。国際的な文献データベースに抄録される頻度をあげる努力が必要だ。

・Mycoscience に掲載された記事のリストを NL に掲載してはどうか。

・掲載のタイミングについては，NL が年 4 回:1, 3, 7, 9 月。日菌報: 5, 11 月がその後にオンラインに載ることになる。まずは学会 HP に掲載し，次の NL にその分をまとめて掲載する方針にすればよい。

→提案通り承認された。

V. 編集関係

Mycoscience 別刷り印刷料金の見積もりが提示され，編集担当と会計担当で相談の上，一定の手数料を徴収する程度で算出することで，提案内容が承認された。

VI. その他（自然誌学会連合関係）

講演会の開催および共同声明「日本学術会議第 25 期推薦会員任命拒否に関する緊急声明」の発出について会議資料に基づいて報告があった。

以上。